

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 3月分

【3月の概要】

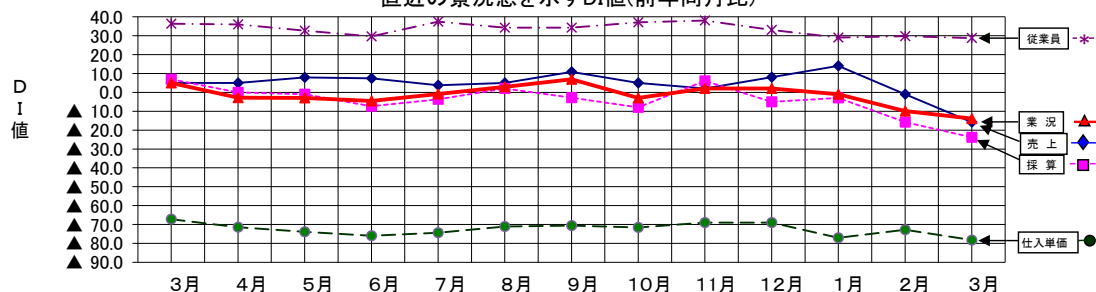
**原材料等の高騰、人件費の上昇、人手不足を課題にする声が引き続き多く、
直近、先行きのDI値は共に全体的に悪化、コロナ禍期の水準まで落ち込む**

直近の景況感を示すDI値は、「従業員DI」が1.0ポイント人手不足感が弱まった。一方、「売上DI」が▲14.8ポイント、「採算DI」が▲8.0ポイント、「業況DI」が▲4.0ポイント、「仕入単価DI」が▲5.4ポイントと悪化。「売上DI」は過去3年間で最低、「採算DI」「業況DI」は過去2年1か月間で最低、「仕入単価DI」は過去2年間で最低の水準となった。

先行き見通しを示すDI値は、「仕入単価DI」が1.0ポイント改善。「従業員DI」は1.0ポイント人手不足感が弱まった。一方、「売上DI」は▲17.8ポイント、「採算DI」は▲12.8ポイント、「業況DI」は▲14.8ポイントと悪化。「売上DI」は過去3年6か月間で最低、「採算DI」は過去2年3か月間で最低、「業況DI」は過去2年間で最低の水準となった。

コメントでは、原材料と諸物価の高騰、人件費の上昇、人手不足に苦しむ声が大きな割合を占めた。

直近の景況感を示すDI値(前年同月比)



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数: Diffusion Index の略)=(良い割合)-(悪い割合)

※従業員=(不足)-(過剰)

	2024年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	2025年 3月
売上	4.9	4.9	7.9	7.4	3.7	4.9	10.8	5.0	2.0	8.0	14.0	▲1.0	▲15.8
採算	6.9	0.0	▲1.0	▲7.4	▲3.7	2.0	▲2.9	▲8.0	6.0	▲5.0	▲3.0	▲15.8	▲23.8
業況	4.9	▲2.9	▲3.0	▲4.6	▲0.9	2.9	6.9	▲3.0	2.0	2.0	▲1.0	▲9.9	▲13.9
仕入単価	▲67.2	▲71.4	▲73.8	▲75.9	▲74.3	▲71.1	▲70.6	▲71.5	▲69.0	▲69.0	▲77.0	▲72.8	▲78.2
従業員	36.3	35.9	32.7	29.6	37.4	34.3	34.3	37.0	38.0	33.0	29.0	29.7	28.7

・プラス幅が減少したDI値：従業員▲1.0ポイント（人手不足感が弱まった）

・マイナス幅が増加したDI値：売上▲14.8ポイント、採算▲8.0ポイント、業況▲4.0ポイント、仕入単価▲5.4ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
1月回答	15.0	▲4.0	▲2.0	▲52.0	26.0
2月回答	5.9	▲7.9	▲3.0	▲55.5	28.7
3月回答	▲11.9	▲22.8	▲17.8	▲54.5	27.7

・見通しが改善したDI値：仕入単価1.0ポイント、従業員▲1.0ポイント（人手不足感が弱まった）

・見通しが悪化したDI値：売上▲17.8ポイント、採算▲14.9ポイント、業況▲14.8ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	資機材値上げ・諸物価の高騰の影響から設備投資の延期、控えの状態となっており、工物件の減少が続いている。また、金利の上昇、人手不足による人員採用の費用も増加傾向となっている。
	電気工事	今月は例年より売上は多くなっているが、物価高や人材不足により人を確保するための経費が増えてきており、収益を圧迫している。
製造業	印刷	ガソリン価格、米価格、最低賃金の高騰など、取り巻く環境が日々激しく変化する。価格転嫁もなかなか厳しい業種である。
	水産	原材料高騰分の売価への転嫁が追い付かず苦戦。また、人手不足により事業が計画通りに進まない。
卸売業	コ－ヒ－	飲食料品の値上げ及びアメリカの関税状況によって今後どのように変化するのか予測がつかない。まさにカオスである。
	ホームセンター	光熱費や生活必需品などの継続的な物価上昇に対して、実質賃金の上昇が伴っておらず、消費者の生活防衛意識は依然として高い。それに加えて、人件費や物流コストも上昇している。
サービス業	生命保険	人手不足が続いているが、春は人が動く時期でもあるため採用に力を入れていきたい。
	タクシー	諸物価高騰による影響と思われるが、夜の人流が思わしくない。これから歓送迎会が活発に行われることに期待したい。
	情報処理	3月1日より2026年卒の就職活動が解禁されたが、昨年度と比較すると応募者が減っている事から採用活動に不安を感じる。